

第 6 回筑波大学応用言語学研究会

日時：2008 年 9 月 12 日（土）13:00 - 18:15

場所：筑波大学共同利用棟 A 2 階 201 号室 バス停「大学公園」より徒歩 3 分

会場：201 号室

13:00 - 13:05 開会の挨拶

13:05 - 13:10 発表全体の説明

13:10 - 14:40 講演

「近代日本語の待遇表現の研究 社会言語学的な観点から」

房 極哲（国立順天大学校教授（韓国）筑波大学外国人受託研究員）

研究発表	第 1 会場：102 号室	第 2 会場：103 号室
14:55 - 15:35	連体化従属節を含む複合名詞句と 非対格仮説をめぐって スタラ・ティラウト (筑波大学大学院生)	配慮表現となる例示形式「タリ(スル)」, 「ナンカ」の考察 大和 啓子(筑波大学大学院生)
15:40 - 16:20	構文と動詞形態の対応 日本語の 複合動詞とロシア語の接頭辞の対 照研究 スバチェワ・インナ (筑波大学大学院生)	談話における「ほら」の機能 談話標識からの視点から 山元 一晃(筑波大学大学院生)
16:30 - 17:10	連体修飾節の日韓対照 「トイウ」 と“Iago haneun”、“Ianeun”を中 心に 河 イルムク(筑波大学大学院生)	中日対訳コーパスを用いた「クル・イク」 と「来・去」の日中対照 白 リーピン(筑波大学大学院生)
17:15 - 17:55	授受動詞「やる・くれる・もらう」 の意味分析 部田 和美(筑波大学大学院生)	名詞句「N1のN2」が複合名詞「N1 N2」になる諸条件 非飽和名詞が関わる場合 小高(高橋) 葉子 (早稲田大学日本語教育研究センター)

18:00 - 18:15 総括(201 号室)

18:30 - 懇親会 会費：2,500 円(是非ご参加ください。)

会場：第 1 学群棟 2 階 スープファクトリー

筑波大学大学院 人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 応用言語学領域

〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学人文・社会学系棟 B515 号室

E-mail: tsukubaoooyoo@yahoo.co.jp

URL: <http://www.lingua.tsukuba.ac.jp/~oooyoo/>

交通アクセス http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html